

**臨床心理学科・臨床心理学専攻  
卒業論文，修士論文作成の手引き**

2020年11月11日 学科会議承認版

## 目次

1. 卒業論文・修士論文本体の作成について	… 1
1. 1. 論文の形式	
1. 2. 論文の長さ	
1. 3. 表紙および目次	
1. 4. 本文中の表記	
1. 5. 図表の書式	
1. 6. 本文中の引用	… 2
1. 7. 引用文献	
1. 8. その他の事項	… 3
1. 9. 学位論文の製本表紙の作成要領（修士論文のみ）	
添付資料（本文中の引用の詳細）	…
添付資料（引用文献の詳細）	…

## 1. 卒業論文・修士論文本体の作成について

### 1. 1. 論文の形式

原稿はワープロソフトで作成する。A4判の白紙を縦置きにして使用し、文章は横書きとする。各ページは上に35mm, 下・左・右に30mmの余白を取り、40文字×25行(1000字)とし、10.5ポイント以上のサイズの文字を用いる。原稿には表紙・目次を除いて通しページ番号を付ける。

### 1. 2. 論文の長さ

論文の長さは、本文、脚注、図表、引用文献、謝辞などすべてを含め、卒業論文は15ページ以上、修士論文は原則20ページ以上とする。ただし、表紙、目次、付録は含まない。

### 1. 3. 表紙および目次

卒業論文の表紙には、題目、大学名、学部名、学科名、学籍番号(アルファベットは大文字)、氏名、指導教員名を表記する。修士論文の表紙は、様式に沿って作成する(様式5)。

表紙の次のページに目次を作成する。目次には、本文中の見出し(問題、目的、方法、結果、考察、章および節のタイトル)、引用文献、謝辞、付録を書き、それぞれのページ番号を表記する。

### 1. 4. 本文中の表記

(1) 本文中での見出し(中央大見出し、横大見出し、横小見出し)はMSゴシック、ボールド体(太字)で表記する。

(2) 見出し以外は、全角文字はMS明朝、半角英数字はTimes New Romanで表記する。

(3) 句点はマル(。), 読点はカンマ(,)を用いる。

(4) 統計法に用いられる記号(例:  $M$ ,  $SD$ ,  $t$ ,  $F$ ,  $p$ ,  $df$ ,  $ns$ など)はイタリック体(斜体)で表記する。

(5) 日本語では、原則として常用漢字・現代かなづかいを用いて原稿を作成する。新仮名づかい、原則として常用漢字とする。

(6) 論文の主な構成は、問題、方法、結果、考察の各部分を含むことが望ましい。

### 1. 5. 図表の書式

(1) 表の番号、表の題

表の番号は、論文中に示す順序に従ってTable 1, Table 2のように算用数字で通し番

号を付ける。改行して表の題を付け、末尾にはピリオド (.), 句点 (.) を付けず、表の上部に中央そろえて表記する。

Table 1  
ストレス経験内容の因子構造

項目	因子		
	F1	F2	F3
職場でどれだけ大変なことがあったか	.75	.07	.06

(2) 図の番号, 図の題

図の番号は, 論文中に示す順序に従って Figure 1., Figure 2. のように算用数字で通し番号を付ける。番号の後ろにはピリオド (.) を付け, 改行せず図の題を続け, 末尾にはピリオド (.), 句点 (.) を付ける。図の下に, 図の番号および図の題を左そろえて記す。

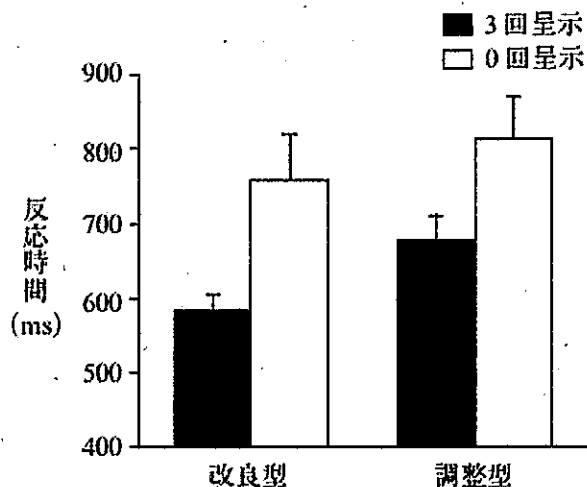


Figure 1. 実験1の改良型, 調整型刺激事態における各呈示回数下での反応時間 (エラーバーは標準誤差)。

1. 6. 本文中の引用

本文中の引用の表記は, 原則として日本心理学会発行の「心理学研究」の最新版執筆・投稿の手引きに従う。詳細は添付資料の通りである。

1. 7. 引用文献

引用文献は本文の次に一括して示す。見出しは「引用文献」とし, 中央大見出しとする。文献を引用する場合の一般的注意は以下の通りである。詳細は添付資料の通りである。

- (1) 表記が2行にわたる場合は、2行目以降を全角2文字(半角4文字)分字下げする。
- (2) 日本語文献と外国語文献を分けず、著者名(姓)のアルファベット順とし、文献番号は付けない。
- (3) 文献の刊行年には、すべて西暦年を用いる。刊行年には半角で( )を付ける。
- (4) 文献の標題は副題も含めて略さずに書く。日本語文献では、副題を2倍ダッシュ(——)ではさむ。外国語文献では、原則として表題と副題の最初の語の頭文字、固有名詞、ドイツ語の名詞のみ大文字とし、副題はコロン(:)のあとに続ける。
- (5) 原則として間接引用(孫引き)はしない。やむをえない場合は、間接引用した文献、間接引用のために参照した文献の両方を示し、間接引用した文献の末尾に参照した文献の情報を付ける。

#### 1. 8. その他の事項

その他の表記法・書式等については、原則として公益社団法人日本心理学会「執筆・投稿の手引き」(最新版)のルールに従う。

([http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki20151019\\_fixed\\_compress.pdf](http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki20151019_fixed_compress.pdf))

#### 1. 9. 学位論文の製本表紙の作成要領(修士論文のみ)

- (1) 製本用の修士論文の表紙は黒色系のカバーを用い、表紙と背表紙に「香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻修士論文」、課題名、作成年月および氏名を金文字で印刷する。
- (2) 背表紙は、以下の構成で作成する。表紙と同様に金文字で印刷する。
  - (a) 上に1cmの余白をとる。
  - (b) その下の高さ7cmの範囲に「香川大学大学院医学系研究科」、「臨床心理学専攻 修士論文」と2行で表記する。
  - (c) その下の高さ11cmの範囲に課題名を表記する。
  - (d) その下の高さ5cmの範囲に氏名を表記する。
  - (e) その下の高さ2cmの範囲に西暦で修了年(年度ではない)を表記する。
  - (f) その下に4cmの余白をとる。
- (3) 製本は大学保存用1冊、指導教員・副主査用各1冊の計4冊作成する。本人用はそれとは別に必要冊数作成する。
- (4) 大学保存版は学位授与式前日までに、医学部学務課大学院担当に提出する。この時、すでに提出済みの簡易製本の冊子と差し替える。指導教員・副主査用は各自が教員に受け渡す。
- (5) 図書館医学部分館所蔵の過去の製本版修士論文を参考に体裁を揃える。